

# すずらん通信

NO.6

慈生会 前原病院

ハートベルホスピス

発行日:平成 29 年 4 月 15 日

副院長・ホスピス長

前原弘江

桜の季節から新緑の緑を感じ始めた今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。

先日 3 月 11 日 (土)、前原病院・ハートベルホスピスにおいて第六回目の遺族会を開催いたしました。遺族会の様子を皆様にお届けするため、すずらん (病棟のシンボルフラワ~) 通信を配信させていただきます。短い時間ではありましたが、ご遺族の皆様と思いを分かち合える時間を一緒に過ごさせていただき、ありがとうございました。通信をみていただき、次回の遺族会で皆様にお会いできるきっかけになれば幸いです。

## 1. ご遺族紹介 & 茶話会

今回は、10 名のご遺族 (9 家族) の方が参加してくださいました。

スタッフは、ご遺族の方の顔を拝見すると、当時の事がつい先日の事だったかのように思い出されます。そんな思いを馳せながら、毎回ご遺族の言葉を感慨深く聴かせていただいています。

「ここで過ごせて良かった。色々な人が気をつかってくれながら過ごしていた」

「スタッフの顔ぶれが変わっていなかった」「3 年経つのでかなり落ち着いて楽になった」

「ここがより所のような感じで、温かく迎えてもらえる」

「部屋を見ると、まだ母がいるんじゃないかと思う」

「分かち合う機会を与えてもらったことに感謝」

「2 回目参加した時と、今回の参加とでは来た時の涙がバア~っと出なくなった。

母を偲ぶ所と思い参加」

亡くなられた年数にかかわらず、ご遺族にとって、病院に来るといいう事がどれだけしんどい事なのか……。少しづつ前に進まれている方、日頃の生活の中で思いを馳せながら過ごされている方、辛さや悲しみに心を痛めておられる方。色々な思いを聞かせていただきながら、スタッフ一同少しでも思いを分かち合い、ご遺族の支えになればといつも心に刻まれる時間になっています。遺族会という場が、ご遺族の方が今の思いを話せたり、ひとりではないんだと感じる事のできる場になればと思います。そして、私たちスタッフがご遺族の顔を拝見してなんともいえない懐かしさを覚えるのと同じように、スタッフの顔を見て、一緒に、喜び・悲しみ・辛さ・怒りなどいろいろな思いを語り会える場でもあってほしいと願っています。



## 2. メモリアルブック

当院で過ごされた方々の思い出を、いつまでも共に持ち続けたいという思いで作ったメモリアルブック。「おかあさん、本当にありがとう。あなたの死を通して生き方を教えてもらいました。命の尊さを痛感しました。」「今が一番幸せという、母の言葉が家族の宝です。」今を精一杯生きておられる方々の色々な思い……。誰かの心につながっていつてくれるような気持ちでいっぱいです。

いつでもメッセージは残すことができますので、病棟にお越しください。

## 3. 歌のプレゼント

遺族会恒例の「いのちの歌」

いつかは、誰でも、この星にさよならをする時がくる  
だからこそ、今を精一杯生きていきたい。  
そして命は継がれていくんだと信じたい。  
歌いながら、そんな事を感じる事ができる歌。  
ここで出会う事ができたすべての方に、ありがとう。



## 4. 記念撮影



## 5. 自助会のご案内

遺族の方々が、遺族会以外でお互いに、悲しみを乗り越えるのを支え合える場として開催しています。

病院に来るのは、気が重い方もおられるとは思いますが、誰かに話して少し気分転換を、そんな気軽な気持ちで足を運んでいただければと考えています。

また、自助会運営に関わりたいと思われる方がおられましたら声をおかけください。

～編集後記～

遺族会に参加するたび、ご遺族の言葉を心にとめ、日々の医療や看護に生かしていけるようにと強く感じています。皆様とお会いできたことに感謝をし、次回につなげていきたいと考えています。遺族会の案内が年2回になっているため、参加人数の調整で、案内送付を時期にあわせて調整させていただいています。ご了承ください。

次回の遺族会や自助会でお目にかかれることをスタッフ一同心待ちにしています。

緩和ケア病棟看護師 瀧村亜由美



曜日：毎月 第2・第4土曜日  
時間：14時～15時半  
場所：3階 スピリチュアルーム  
\*連絡は、前原病院  
(084) 925-1086 3階病棟まで

